

トピックス

「重症急性呼吸器症候群(SARS)」関連情報(第 8 報)

【平成 15 年 5 月 8 日現在】

WHO は 5 月 7 日現在、最近の地域内伝播が疑われる地域（最近 20 日以内に、その地域内での感染が最も強く疑われる複数の SARS 可能性例が報告された地域：5 月 1 日までは伝播確認地域）として、ホンコン、中国（北京、広東省、山西省、内モンゴル自治区、天津）、台湾、シンガポール、トロント（カナダ）、ウランバートル（モンゴル）、フィリピン（特定地域の指定なし）を報告しています。これらの地域における地域内感染伝播のレベルが、5 月 2 日の報告から +（低い）、++（中等）、+++（高い）、不確定の 4 段階（症例定義参照）で表されるようになりました。

現在のところ、WHO はホンコン、中国（広東省、北京、山西省）への、CDC（米国疾病対策センター）はホンコン、中国全土、台湾への不要不急な旅行の延期を勧告しており、我が国の外務省もホンコン、中国（広東省、北京、山西省）、台湾への不要不急な旅行の再考勧告を含む海外渡航危険情報を出し、注意をうながしています。

また、WHO は 5 月 1 日、症例定義の可能性例の条件として、SARS コロナウイルス (SARS - CoV) に対する抗体検査、PCR 法によるウイルス遺伝子の検出、ウイルスの培養法による分離検査の内、どれか 1 つ以上が陽性となった場合には、疑い例を可能性例として扱うこととしました。しかし、検査結果の扱いとしては、従来 of 症例定義を最優先し、検査結果を待つことによって報告を遅れさせてはならないこと、検査結果が陰性の場合でも報告を取り下げはならないこととし、現時点ではあくまで補助的なものであることが強調されています。また、検査手技に関しても、精度管理の徹底や 2 重のチェックが必要としています。現在のところ、我が国の厚生労働省の症例定義は従来の 4 訂版のままです（5 月 7 日現在）。

WHO によると、これまでに 6,903 名の患者（疑いを含む）（中国本土で 4,560 人、ホンコンで 1,654 人、シンガポールで 204 人、カナダで 146 人、台湾で 125 人等）と 495 名の死亡者が報告されていますが、5 月 7 日時点での回復例として 2,885 名が報告されています。また、WHO は 5 月 7 日、現時点での死亡率（概算）を報告しました。糖尿病や心疾患などの基礎疾患の有無にもよりますが、死亡率の範囲は 0% ~ 50%、全体の平均は 14% ~ 15% であり、24 才以下では 1% 未満、25 才 ~ 44 才では 6%、45 才 ~ 64 才では 15%、65 才以上では 50% 以上となっております。我が国の厚生労働省は WHO の情報を受け、全国の自治体、医療機関等に関連情報を提供し、疑い例等の発生報告を依頼し、5 月 7 日現在 62 例（「疑い例」（46 例）、「可能性例」（16 例））が報告されていますが、「確定例」と判定された症例はありません。

愛知県は 4 月 16 日、「愛知県 SARS 対応行動計画（暫定版）」を発表し、「可能性例」の基準を満たす患者については、治療は原則として県内の 7 医療

機関(表参照)で実施し、検査は県衛生研究所及び国立感染症研究所で実施することになりました。

医療機関名	所在地	感染症病床数
名古屋市立東市民病院	名古屋市	10床
公立陶生病院	瀬戸市	6床
愛知県立尾張病院	一宮市	6床
春日井市民病院	春日井市	6床
厚生連知多厚生病院	知多郡美浜町	6床
県立愛知病院	岡崎市	6床
豊橋市民病院	豊橋市	10床



この「愛知県SARS対応行動計画」は、

[健康対策課のホームページ](http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/sars/index.html)

(<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/sars/index.html>)

からダウンロードできます。

SARSは現在、感染法上の「新感染症」として取り扱われ、エボラ出血熱など**1類の疾患**と同様な対処が求められています(厚生労働省、3月14日付の通知)。これにより、以下の条件(症例定義)を満たす疾患はその全てを報告する必要があります。

今のところ国内でSARS患者と認定された患者はいませんが、この地域からは「最近の地域内伝播が疑われる地域(ホンコン、中国(北京、広東省、山西省等)、台湾、シンガポール、トロント(カナダ)等)」への渡航者が多いこと、それにこれら地域の在住者の帰国が増加していることから、この地域へのSARSの侵入も十分考えられます。したがって、SARSに関する情報を幅広く提供し、「疑い例」や「可能性例」を早い段階で発見し報告する等のことが求められます。

なお、様々な情報が毎日メディアによって流されていますが、これまでに確認されたほとんどの患者が、患者の医療に携わった医師、看護師などの医療従事者、それに患者と同居している家族及び患者と濃厚接触のあった人達に限られています。したがって一般の人々が感染する可能性は低いと考えられますが、我が国にSARSが侵入する可能性も充分に考えておく必要があります。各医療機関及び関係機関においては、前述の行動計画の内容等を参考に、適切に対応することが求められます。

○ 予防方法

原因は4月16日のWHO報告により、普通のかぜ(インフルエンザではなく)の原因となるウイルスの1つであるコロナウイルスの新種「SARSコロナウイルス(SARS-CoV)」によるものと確認され、検査法の研究開発も進んでおり、不完全ではありますがWHO、米国CDCでは症例定義の条件に挙げました。また、WHO研究施設ネットワークは5月4日、ウイルスが種々の条件でどのくらい生きているのかを研究した



データを初めて報告しました。それによりますと、正常な便中では室温で6時間程度しか生存できなかったものが下痢症状の患者便中（pH9のアルカリ性）では最高4日間程度生存することが分かりました。その他、消毒用エタノールなどの一般に用いられている消毒剤によって5分程度で感染力がなくなること、56℃で15分間加熱することにより急速に死滅すること、4℃と-80℃では3週間程度は生きていることなども分かりました。しかしながら、治療法や予防接種の確立にはまだ相当の期間が必要と考えられ、発症機序や感染経路等も不明な点が多く残っています。いずれにしても、医師や看護師、それに患者と同居する家族など患者との濃厚接触者から多くの患者が発生していることを考えると、特に手洗いの励行を主体としたうがいなども含めた一般的な衛生状態の保持は有効だと考えられます。

* なお、今後も新たな情報が入り次第、再度この週報トピクスとホームページのトピクスで皆様にお知らせする予定です。

参考

WHO (<http://www.who.int/en/>)

Severe Acute Respiratory Syndrome (SARS) を参照してください。

厚生労働省 (<http://www.mhlw.go.jp/index.html>)

東南アジア等で流行している「重症急性呼吸器症候群」関連情報

(<http://www.mhlw.go.jp/topics/2003/03/tp0318-1.html>) および

伝播確認地域 (<http://www.mhlw.go.jp/topics/2003/03/tp0318-1e.html>) を参照してください。

感染症情報センター (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

緊急情報 重症急性呼吸器症候群 (<http://idsc.nih.go.jp/others/urgent/update.html>) および

伝播確認地域 (<http://idsc.nih.go.jp/others/urgent/area-38.html>) を参照してください。

原因不明の重症急性呼吸器症候群の症例定義

疑い例

2002年11月1日^(注1)以降に以下の全ての症状を示して受診した患者で

- ・ 38度以上の急な発熱
- ・ 咳、呼吸困難感^(注2)などの呼吸器症状

かつ、以下のいずれかを満たす者

- ・ 発症前10日以内に、原因不明の重症急性呼吸器症候群の発生が報告されている地域*に旅行した者
- ・ 発症前10日以内に、原因不明の重症急性呼吸器症候群の症例を看護・介護するか、同居しているか、^(注3)患者の気道分泌物、体液に触れた者

* 「最近の地域内伝播」が疑われる地域 (5月7日 WHO公表)

国名	地域	地域内感染伝播のレベル
カナダ	トロント	++
中国	北京	+++
	広東	+++
	香港中国特別行政区	+++
	内蒙古自治区	不確定
	山西	+++
	天津	不確定
	台湾	++
モンゴル	ウランバートル	+
フィリピン	不確定	++
シンガポール	シンガポール	++

最近20日以内に、その地域内での感染が最も強く疑われる複数のSARS可能性例が報告された地域

【+(低い)】

SARS可能性例の輸入症例が直接の個人的接触により地域内での二次感染による可能性例を発生させた場合

【++(中等)】

地域内で二次感染かそれ以上の感染によるSARS可能性例が発生しているが、全ての症例がSARS可能性例の既知の接触者として、事前に確認され、経過観察下にあったものからの発症である場合

【+++ (高い)】

上記+や++とは異なる感染伝播形式を示す場合

【不確定】

地域での感染伝播の明確な場所や程度を特定する情報が不足している場合

ハノイ(ベトナム)は、4月28日付けで除外されました。

5月1日付けで米国、ロンドン(英国)が除外され、天津(中国)、ウランバートル(モンゴル)が追加されました。

可能性例

疑い例であって、

- ・ 胸部レントゲン写真で肺炎、または呼吸窮迫症候群の所見を示す者

または

- ・ 原因不明の呼吸器疾患で死亡し、剖検により呼吸窮迫症候群の病理学的所見を示した者

(注) 3訂版との主な変更箇所は以下のとおり

(注1) 2002年11月1日に変更

(注2) 症状から、「息切れ」が削除された。

(注3) 接触状況で「近距離で接触するか」が削除された。

(注4) 備考が削除された。

流行状況

手足口病 夏かぜウイルスの飛沫、経口、水疱からの感染
口の中、手や足の先の水疱性発疹

夏のウイルス感染症

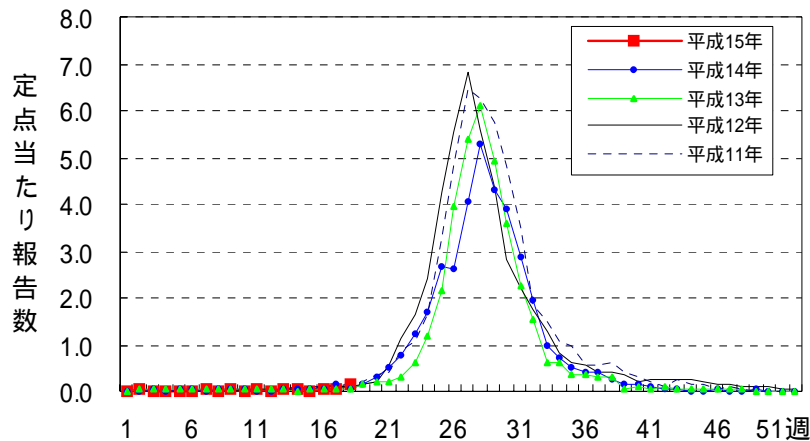
定点当たりの報告数は 0.26 (先週 0.25) と **やや増加**

ヘルパンギーナ 夏かぜの一つ。咽頭に赤いリングの小水疱と浅い潰瘍

夏のウイルス感染症

定点当たりの報告数は 0.17 (先週 0.05) と **やや増加**

ヘルパンギーナ



麻疹(はしか)

定点当たりの報告数は 0.05 (先週 0.01) と **やや増加**

予防には **ワクチンが有効**

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 レンサ球菌のうち血清型分類のA群に分類される
ものによる上気道感染症

定点当たりの報告数は 1.0 (前週 1.2) と **やや減少**

感染性胃腸炎

定点当たりの報告数は 3.8 (前週 4.1) と **やや減少**

水痘(みずぼうそう)

定点当たりの報告数は 1.7 (前週 1.7) と **同程度に推移**

咽頭結膜熱 発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とする急性のアデノウイルス感染症

定点当たりの報告数は 0.12 (先週 0.15) と **やや減少**

感染症についての説明及びグラフ総覧については、
愛知県衛生研究所のホ - ムペ - ジをご覧ください。
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>)

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

病原性大腸菌O1 2歳女、7歳男、26歳男

病原性大腸菌O6 26歳女

病原性大腸菌O18 2歳女、37歳女、1歳女

病原性大腸菌O142 4歳男、35歳女

病原性大腸菌O153 2歳男

病原性大腸菌O169 26歳女

病原性大腸菌患者の多さに非常に驚いています。また、重症のロタウイルス感染症が多く、EBウイルス、アデノウイルス患者も確認しております。

【尾西市 城後小児科】

感染性胃腸炎が続発中

溶連菌、水痘、ムンプスが出はじめています。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

手足口病 3名、伝染性紅斑 2名ありました。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

6歳男、5歳女、3歳女マイコプラズマ感染症

【春日町 丹羽医院】

感染性胃腸炎が減少しました。

【七宝町 村上医院】

尾張東部地区

胃腸かぜ少々のみ。めだったものありません。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

4歳男 伝染性紅斑 1名ありました。

【春日井市 かちがわ北病院】

喘鳴を主訴とする人が多くなりました。

【東海市 小児科ハヤカワ医院】

西三河地区

9歳男 カンピロバクター

【岡崎市 医療法人深田小児科】

4歳男 カンピロバクター

【岡崎市 花田こどもクリニック】

4歳女 カンピロバクター

2歳女 病原性大腸菌O1 VT(-)

2歳男 サルモネラO9

【岡崎市 にいのみ小児科】

3歳女 ロタウイルス

4歳男 病原性大腸菌O1

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

溶連菌感染症 4歳女、1歳男(姉と弟)

【西尾市 やすい小児科】

大腸菌O8 8ヵ月男 VT1(-) VT2(-)

アデノウイルス 扁桃腺 2歳男、4歳男

【幸田町 とみた小児科】

異型肺炎 4歳女、3歳男

【三好町 三好町民病院】

東三河地区

コメントなし

1～3類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

細菌性赤痢

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	菌型等	備考
1	岡崎市	38	男	5/2	5/3	5/5		19週報告分

全数把握の4類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

アメーバ赤痢 1例

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

「子雀も新入生もよくわかる」：朝日新聞の俳壇で見つけた投稿句です。連休が終わって新入生や新入社員諸君、早くなじんで欲しいものです。いつも貴重な情報を有難うございます。4月後半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からは感染症は全般的に少く、高熱を伴う咽頭炎・扁桃炎、マイコプラズマ肺炎（共に要入院例あり）が比較的多い、第一日赤松山先生からは水痘が多かったがその後A群溶連菌感染症、感染性急性胃腸炎散発、急性気管支（肺）炎の入院あり、城北病院渡辺先生からは下痢嘔吐症がまだ多くロタ、アデノ陰性、急激な熱発例で時間外外来多忙、マイコプラズマと水痘散見、第二日赤岩佐先生からは仮性クル-プが少し目立ち手足口病が1例入院、千種区今枝先生からは水痘と感染性胃腸炎が散見、溶連菌感染症1例、ウイルス性発疹症（40 発熱と嘔吐、解熱後全身に風疹様発疹）、三菱病院入山先生からは溶連菌感染症散発、感染性腸炎（カンピロバクタ-、病原性大腸菌、病原性大腸菌O1、O18、O25、ロタウイルス：入院例あり）マイコプラズマ肺炎（入院例あり）、労災病院山田先生からは溶連菌感染症、水痘、サルモネラ・カンピロバクタ-腸炎、ロタウイルス胃腸炎、肺炎、ヘルペス感染症があり、アデノウイルスによる扁桃炎が多いとのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からは溶連菌感染症、感染性胃腸炎、水痘、手足口病それぞれ散発中、江南市昭和病院小児科からは溶連菌感染症、水痘、ムンプス、ロタウイルス腸炎、アデノウイルス感染症、常滑市民病院小児科からはロタウイルスを含むウイルス性胃腸炎（脱水で要入院例あり）、溶連菌感染症、咽頭結膜熱、マイコプラズマ肺炎、突発性発疹が目立つとのお手紙でした。
- 3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からはロタウイルス腸炎がまだ残っていて喘息がやや増加、岡崎市民病院小児科からは水痘と溶連菌感染症が散発、ロタウイルス感染症は多かったが減少傾向、CRP高値の肺炎・気管支炎とマイコプラズマ感染症が多い、刈谷市田和先生からは溶連菌感染症、嘔吐下痢症、水痘が散発、碧南市永井先生からは水痘が目立ち、ムンプスが保育園で小流行、豊橋市からは気管支炎、水痘などが散発中（市内宮澤先生、長屋先生）というお手紙をいただきました。有難うございました。

愛知県衛生研究所企画情報部 (文責 磯村)

2003 年 3 月 28 日 (78 巻 13 号)

重症急性呼吸器症候群 (SARS) : WHO による国際 SARS ウイルス研究網が 9 カ国・11 研究室で継続中。これとは別に WHO は 03 年 3 月 26 日に診断と治療に関する情報交換を電話会談で世界 13 カ国・80 名の臨床医を組織して実施。国際線旅客機・旅行者に対する 3 月 15 日の勧告を WHO は維持、変更の場合は至急情報提供する方針。

ポリオ根絶。エジプト : 1988 年から 2002 年でポリオ患者数は 99% 減少、南北アメリカ、欧州、西太平洋地区では根絶され東地中海地区も激減して常在国はアフガニスタン、エジプト、パキスタン、ソマリアの 4 カ国となった。本報はエジプトの最近の報告である。

定期接種率 : 02 年の乳幼児ポリオ生ワク 3 回以上接種率は > 95% である。

全国一斉接種日 : 定期接種と別に年 3 回 5 歳以下小児に戸別訪問で接種。980 万名。

急性弛緩性麻痺サ - ベイランス : 地区担当保健要員の教育の結果、正確な届出が実施され届出数は減少、カイロの検査施設におけるウイルス分離も進捗し、00 年からは環境中のポリオウイルス調査が下水の検査で実施されている。

ポリオ野生株分離 : 患者材料、下水ともに 1 型。2 型・3 型は分離されていない。ナイル上流部 (地図あり)。

インフルエンザ。コンゴ共和国・ボソボロ地区 : 02 年 11 月、コンゴ共和国熱帯州ボソボロ地区 (地図あり。北部の中央アフリカ国境) に広範なインフル様疾患流行。小児と高齢者が罹患、死亡率 1.5%。分離ウイルスは A (H3N2)。ワクチン類似株。

03 年 3 月 21 日 (78 巻 15 号)

SARS。WHO による診断目的の国際協力研究網。03 年 3 月 17 日、9 カ国 11 研究所を組織して電子顕微鏡像、ウイルス遺伝子分析、ウイルス分離培養を中心に IT によるリアルタイムの情報交換実施。

結核。WHO の世界結核対策年次報告 : WHO による第 7 次報告。各国における届出状況、調査法、予算、DOTs (Directly Observed Therapy. 患者の短期化学療法剤をまとめて患者に渡すのではなくて、各回の内服を担当者が目の前で確認。治療効果は優秀で耐性菌発生も少ない) による治癒状況、について結核の多い 22 カ国を中心に 05 年の目標を患者発見率 70%、治療成功率 85% として地球規模で実施されている。届出状況 : 市場経済が確立されている諸国では減少。ラテンアメリカ、中欧、西太平洋地区、東南アジア、東地中海各地区も減少。問題はサハラ以南のアフリカ諸国 (特に HIV 陽性者) と旧ソ連地区の増加である (図あり)。治癒率 : 中国、ベトナム、カンボジア フィリッピンは 85% を超えているが、ウガンダ、南アフリカ、インドネシア、タイ、旧ソ連などでは 60% 台と低い。予算と見通し : 試算された金額の 11% が集まっていない。現在の DOTs の状況では結核対策の目標実現は 05 年には困難であり、普及活動が重要である。

4 月 4 日 - 10 日届出。コレラ : モザンビーク、ウガンダ。

第16週(15年4月14日~4月20日)の4類感染症 (全国)

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多く、過去10年間との比較でも最高の値となっている。都道府県別では滋賀県(0.8)、新潟県(0.6)、鹿児島県(0.5)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多く、都道府県別では富山県(4.0)、福井県(3.4)が多い。マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は0.19で増加し、過去4年間の同時期の平均の約2.5倍あり、都道府県別では岡山県(1.2)、新潟県(0.8)、大阪府(0.8)、青森県(0.7)、宮城県(0.7)が多い。インフルエンザの定点当たり報告数は減少し続けている。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は微増し、都道府県別では鳥取県(14.6)、宮崎県(13.0)、福井県(13.0)が多い。水痘の定点当たり報告数は3週連続で減少した。手足口病、伝染性紅斑、ヘルパンギーナの定点当たり報告数はいずれも微増した。都道府県別では、手足口病は宮崎県(2.5)、山形県(1.2)、伝染性紅斑は北海道(0.9)、新潟県(0.8)、ヘルパンギーナは鳥取県(0.6)、熊本県(0.5)が多い。風疹の定点当たり報告数も微増し、都道府県別では岡山県(1.4)が前週と比較してさらに倍増し、全国の報告数の半数以上を占めている。麻疹(成人麻疹を除く)はゆっくりと増加しており、都道府県別では福島県(1.4)、宮崎県(0.7)が多い。成人麻疹は0.05と増加し、都道府県別では東京都(0.4)、神奈川県(0.3)が多い。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - 感染症情報室提供)

詳細は感染症情報センター - のホームページ (<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>) の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

愛知県感染症情報

2003年第18週 (平成15年4月28日～5月4日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
計	10	9	135	478	245	45	43	91	3	1	17	9	91	1	18	0	0	0	6	0	0
～6ヶ月				4	4			6													
～12ヶ月			1	25	11		2	49	2						1						
0歳																					
1歳	1	3	2	60	48	9	2	33			7		2		1						
2歳		2	7	44	48	9	8	1			5	1	5						1		
3歳	1	2	12	74	66	7	4	2			2	1	17		1						
4歳	3		25	55	36	9	5						24						1		
5歳		1	25	53	20	8	7				2		13		1						
6歳			26	17	5		5					2	11								
7歳	1		20	22	4	3	5				1		5								
8歳			3	18	1		2			1		1	9								
9歳			4	15			2					2	4								
5歳～9歳																			3		
10歳～14歳	3		6	27	2				1			2									
15歳～19歳			1	7			1								1						
20歳～		1	3	57									1								
20歳～29歳														1	5						
30歳～39歳	1														4						
40歳～49歳															3						
50歳～59歳															1						
60歳～69歳																					
70歳～																					
70歳～79歳																					
80歳以上																			1		

愛知県感染症情報

2003年第1週～第18週(平成14年12月30日～平成15年5月4日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	191	182	35	51	13	47,880	242	3,075	19,024	6,538	433	481	1,987	21	21	109	40	1,658	19	333	1	2	5	47	0	1
総数 (名古屋市は除く)	121	112	24	37	12	38,575	180	2,273	13,143	5,395	345	395	1,577	16	12	68	30	1,365	16	253	1	2	5	47	0	1
名古屋市	70	70	11	14	1	9,305	62	802	5,881	1,143	88	86	410	5	9	41	10	293	3	80						
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	2,755	29	279	694	229	7	6	91	3	1	8		163	1	14					
海部津島	津島	7	7	2	2	1	1,341	18	40	916	300	22	23	71	1		1	40		9				2		
尾張中部	師勝	4	4	1	1		1,378		31	785	46	11	11	22		15	1	18		7						
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	2,712	1	166	1,514	470	38	44	187	4	1	2	1	116	1	6			1		
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	4,291	9	164	973	299	22	45	146	1	1	10	1	106		24	1	2	1		1
	江南	6	6	1	2		1,520	7	125	1,202	240	41	19	111			3		45		18					
知多半島	半田	6	6	1	2	1	1,915	9	102	518	121	7	1	87				1	92		10				8	
	知多	7	7	2	2		2,364	8	167	882	299	16	7	110				8	21		10					
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1	4,159	1	149	114	603	9	37	174	2		3	1	198	2	23					
	衣浦東部	11	11	2	4	1	5,878	12	235	869	633	30	52	158	2		9	6	235		56			2	5	
	西尾	5	5	1	2	1	1,190	9	123	501	289	13	35	71			3		84		6			1	4	
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	2,408	17	102	850	511	11	20	93	2	7	8	4	165	7	48				13	
	加茂	3	3		1		489	10	110	265	105	12	1	21					20							
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1	3,086	48	303	1,921	618	62	68	125	1		3	5	17	3	18				9	
	豊川	9	8	1	2	1	2,837	2	176	1,139	602	43	26	97			4	1	37	2	4				6	
東三河北部	新城	2	2			1	252		1		30	1		13					8							

愛知県感染症情報

2003年第1週～第18週(平成14年12月30日～平成15年5月4日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
計	38,575	180	2,273	13,143	5,395	345	395	1,577	16	12	68	30	1,365	16	253	1	2	5	47	0	1
～6ヶ月	518	1	3	151	134	4	3	127	2		3		2								
～12ヶ月	1,096	5	13	920	300	12	15	979	4	1	8	2	8		6						
0歳																					
1歳	3,226	33	56	2,215	987	77	18	438	2		24	8	62		4				5		
2歳	3,245	33	152	1,513	979	76	36	26	1	1	11	3	98	1	5				5		
3歳	3,321	24	271	1,406	920	57	42	3			8	2	177		8				3		
4歳	3,515	28	446	1,276	956	58	62		3	1	5	2	286		3				3		
5歳	2,262	21	441	967	594	25	57		1	1	4	1	273	1	6						
6歳	1,825	11	354	712	242	15	58	1			1	4	156		1						
7歳	1,466	9	169	564	90	8	34		1	1	1		96		2						
8歳	1,304	3	108	447	64	3	27	2		2	1	1	76		2						
9歳	1,336	2	66	364	37		12				2	2	35		1						
5歳～9歳																		1	6		
10歳～14歳	4,859		101	803	63	4	25	1	2	1		3	51	1	5				10		
15歳～19歳	1,572		9	222	7		1					1	6		9				2		
20歳～		10	84	1,583	22	6	5			4		1	39			1	2				
20歳～29歳	2,768													7	45			1	4		
30歳～39歳	3,054													1	55			1	4		
40歳～49歳	1,182													1	28			2	2		1
50歳～59歳	892													2	32				1		
60歳～69歳	596													1	25				1		
70歳～														1	16						
70歳～79歳	351																				
80歳以上	187																		1		